

群馬県立板倉高等学校 学校評価一覧表② (令和2年度版)

(様式2)

羅 針 盤		達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	①	②	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①類型・コース制の特色を生かした教育課程に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	○生徒が特色ある学習内容に高い満足度を示しており、引き続き続けて欲しい。 ○生徒の実態に即した教育活動が実践され、たくましい生徒が育成されている。 ○特色ある学校づくりということであるが、特色を魅力に変えていかないと、少子化の折、生徒募集が難しいと考える。 ○生徒が意欲的に学習に取り組んでいる。	○生徒の進路希望が達成できる教育課程となるよう新指導要領に向けた教育課程を具体化していく。 ○チャレンジタイムの内容に関しては、随時見直ししながら、効果的な内容となるよう改善していく。 ○生徒の自己肯定感を育む場面を設定し、所属意識を高めた教育活動を展開していく。	
		②チャレンジタイムⅠ・Ⅱ・Ⅲの内容に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①「授業が分かりやすい」と、生徒の80%以上が答えている。	A	B	B	○78%以上の生徒が授業が分かりやすいと感じている。分かる授業を大切にしながら、生徒が活動する場面を多く取り入れるようにする。 ○69%以上の生徒が授業中に活動に参加していると感じている。今後は「主体的・対話的で深い学び」となるように学習内容を検討する。 ○学習会の内容を明確にして、考査前学習会の参加者を増やすようにする。	○「授業が分かりやすい」と感じているのはうれしいことである。更に工夫と努力を期待したい。 ○様々な学力的実態があるかと思うが、生徒の力を信じて、その特性に合った学習指導をこれからも続けて欲しい。 ○勉強に取り組む姿勢は、素晴らしいことだと思う。 ○基礎から分かりやすい授業が行われ、生徒の自信につながっている。	
		②授業中に、「活動しながら学習したり、学習したことをもとにして考えることがある」と生徒の60%以上が答えている。	A	A	A			
		③定期考査前に学習会を年5回以上実施している。	B	B	B			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	①単位未修得者は、全生徒の5%以下である。	①単位未修得者は、全生徒の5%以下である。	A	A	A	○中学校の復習を取り入れた授業などによる基礎科目の習得のための工夫が、生徒の理解度の意識にも現れている。 ○自らの力で未来を切り拓くことができる生徒を目指して努力して欲しい。 ○卒業後、社会に出たときに、職場なり学校なりに対応していく力をつけることも大切かと考える。	○多様な生徒に応じた指導方法を工夫し、生徒の自己肯定感を育むような授業展開を考える。 ○基礎的な学習内容から発展的な学習も取り入れた授業を心がける。 ○より上位の資格取得を目指すように動機づけを図り、生徒の自己実現に向けた授業を展開する。
			②「基礎科目」によって基礎・基本の知識が身についたと感じている生徒が80%以上である。	B	A	B		
			③資格取得に向けた指導に、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①問題行動の発生件数及び退学者数を前年度以下にする。	B	B	B	○発生件数、退学者ともに減少。実態を全職員が把握し、さらに協力体制を整える。 ○服装頭髪指導で指導される生徒が大幅に減少した。 ○校内組織の充実、アンケートの活用、スクールカウンセラーや保護者との連携等、チェック体制を構築するとともに、積極的にいじめを認知し、解消に努める。 ○欠席率は増加、遅刻率は減少傾向。家庭との協力体制の構築が必要。 ○今後も、交通関係の情報の提供や交通安全街頭補導等でルールを遵守させ事故防止に努めたい。 ○指導体制の確立と全職員の共通理解を図ることが必要。	○部活動を行っている生徒が意外に少ないようである。「部」に魅力がないのか、他にすることが多いのか、改善を期待したい。 ○服装等の乱れは心の乱れにつながる。今後もきめ細かな支援による生徒指導をお願いしたい。そして、退学者「0」を目指して欲しい。 ○目標設定レベルが低いように思われる。前年対比の目標ではなく、100%問題をなくすという考え方はどうか、再考をいただきたい。	
		②服装頭髪指導のチェック者の延べ人数を前年度以下にする。	A	A	A			
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	①いじめに関するアンケート年間5回、それに伴うフォローアップを年間5回実施する。	①いじめに関するアンケート年間5回、それに伴うフォローアップを年間5回実施する。	A	A			A
			6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	①欠席率及び遅刻率を前年度以下にする。	A			A
	②交通事故件数を前年度以下にする。	A		A	A			
		③部活動の加入率を60%以上にする。	A	B	B			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	①「板高進路ニュース」を月2回発行し内容の充実を図る。	B	B	B	○進路指導がよくできており、生徒が卒業後の自分の進む方向をしっかりと考えている。 ○生徒一人ひとりの特性と自らの夢や目標にもとづいた進路指導をこれからもお願いしたい。そして、ペーパー学力だけでなくキャリア教育の充実を望む。 ○一人ひとりが目標を持って努力をしていく生活ができるように指導をお願いしたい。 ○生徒が見学、体験し、進路を検討できる体制ができている。	○随時生徒に進路意識を啓発する内容を掲載し、また家庭に持ち帰るよう指導する。 ○ドリカムプランの行事内容を随時検討し、生徒の進路意識の啓発につながるよう努めたい。 ○今後も自己理解につながる適性診断の結果講話を実施し、進路選択に役立てたい。 ○就職志望先の選択の観点が定まらない生徒が少なくない。職業観の育成から指導を充実させたい。	
		②「ドリカムプラン」に生徒の80%以上が満足している。	A	A	A			
		③生徒の将来の志望について理解している保護者が、70%以上である。	A	A	A			
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	①自分の適性を理解している生徒が、60%以上である。	①自分の適性を理解している生徒が、60%以上である。	A	A			A
			②進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が70%以上である。	A	A			A
			③100%の生徒が、目標とした進路を実現できるようにする。	A	A			A
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①PTA総会、授業参観、学年保護者会等に参加している保護者が、のべ50%以上である。	-	-	-	○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大半の実施を見送った。形骸化を避けつつ簡素化を図り、会員がより参加しやすいものを目指す。 ○年1回、カラー版で発行し、掲載内容も工夫した。2回目について題材不足のため断念した。 ○達成がやや不十分である。文書内容も精選し、向上を目指す。 ○webページの閲覧数は上昇したが、定期的に見てもらおうような工夫が必要である。	○「かわら版」は地域社会と学校を結ぶツールとして大切である。毎回楽しみにし、期待している。 ○毎戸配布される「かわら版」を楽しみに読ませてもらっている。コロナ渦の中で大変だと思うが、今後も継続して欲しい。学校の様子がよく分かる。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大半の行事が中止になってしまった。	
		②本校情報誌「板倉高校かわら版」を年2回以上発行している。	A	B	B			
		③学校からの配布物に毎回目を通して保護者が、60%以上である。	A	B	B			
		④学校のwebページを月2回以上更新する。保護者メールも活用し、随時情報を発信する。	A	A	A			